



風の冷たい晴れた日には…

エプロン通信員 神賀 郷子

みなさん明けましておめでとうござい
ます。今日は本のある居心地のいい空間とし
て、宜野湾市中央公民館図書室を紹介しま
す。場所は市役所隣りの中央公民館3階。
ひと昔前の小学校の図書室を思い出させる
小ぢんまりとした部屋に入ると、窓からみ
わたせる広々とした景色が出迎えてくれま
す。

蔵書数こそ一万五千冊とそう多くありま
せんが、絵本、紙芝居、児童書の充実ぶり
はそれなりのものがあります。そもそも本
を読む目的は人それぞれ。仕事や勉強のた
めに最新の情報が欲しいときはより大きな
図書館がふさわしいでしょう。一方で長い
間読み継がれている、本当に質の良い作品
に出会いたいと思うときには必ずしも新し
くある必要はないのかもしれない。
ここの雰囲気象徴していると思うのは、
絵本コーナー脇に無雑作に敷かれた3枚の
畳。4歳の息子はここに座り込んで絵本を



眺めるのがお気に入りです。図書館と違い、
ここには厳肅な空気がありません。大声で
話したり、飲食をしたりというのは論外で
すが、普通にすごすうえでの物音は差し支
えありません。係の方は、小さな子どもが
いて図書館は行きづらいというおかさ
などに、読み聞かせの場としてぜひ利用し
てほしいとのことでした。

身構えて本を読みに行くというのではな
く、もつと気軽に行ける場所。市役所に用
事があったついでにでもちよつとのぞいて
みませんか？なつかしいあの本に再会でき
るかもしれませんよ。

中央公民館図書室

開室時間 午前八時三十分から午後五

時（毎週火曜日と第三金曜

日、公休日はお休みです）

本の貸出し

ひとり三冊まで（ただし市
内在住もしくは在勤在学
の方に限りです）



冬に負けるな！ムーチーパワー！

33



旧暦十二月の寒波は同月八日
のムーチー行事にちなんで、ム
ーチービーサ”と呼ばれます。
ムーチーは子どもの健康を祈願
する行事で、今年は一月二十六
日にあたります。糯米で作った
餅をサンニン(月桃)の葉で包み、

子ども達は自分の歳の数だけ食
べました。また縄で縛った餅を
軒に吊るし、何日か分のおやつ
にしました。吊るしていた餅が
翌日には少なくなっており、兄
弟ゲンカになることもあったそ
うです。また一人一つ、力餅
といって大きな餅を食べました。

この力餅を食べると、鬼にも負
けない強さになるといわれてい
ます。餅の煮汁は屋敷の四隅に
流し、厄除けとして使いました。
ムーチーは一年で一度しか食べ
られない特別な食べ物として、
子ども達の楽しみでした。

最近では紅芋や黒糖入りのム
ーチーも見られ、学校や公民館
でもムーチーが食べられています。
今も昔も、ムーチー行事は寒い
季節に負けないために、餅を食
べて力をつけ、厄を祓う大切な
行事だと言えるでしょう。



日あたりの良い原野にみられる
サンニン（月桃）



軒に吊るしたムーチー

「宜野湾市史」への問い合わせ

教育委員会文化課

☎八九三二四四三二